

対象国の条件:

研修コース番号:(A)201984461-J002/(B)201984462-J002

案件番号:(A)201984461/(B)201984462

主分野課題:水資源/総合的水資源管理

副分野課題:

使用言語:(A)英語/(B)タリ語

**案件概要**

水資源管理者を対象として、水、土地、その他関連資源の調整を図りながら水資源の開発・管理、公平で効率的な水利用、治水などを実現していく統合水資源管理に関して学ぶ。

目標/成果		対象組織/人材	
<p><b>【案件目標】</b> 研修参加者が、統合水資源管理（IWRM）に関する計画、実施に関する能力を向上させる。</p> <p><b>【成果】</b> (1)概念 統合水資源管理（IWRM）の概念を理解する。 (2)情報収集と分析 水文収支・水需給バランス、IWRMの計画・実施に係わるモニタリング・評価・解析手法を理解する。 (3)計画手法と実例 水資源開発計画、公平で効率的な水利用計画、IWRMの計画手法・実例を理解する。 (4)利害調整 セクター間、上下流間及び地域間の水資源コンフリクトの原因を理解し、その解決の糸口を探る。 (5)アクションプラン 統合水資源管理上の課題を抽出し、改善に向けたアクションプランを策定する。</p>		<p><b>【対象組織】</b> 統合水資源管理に携わる行政機関または河川流域機関</p> <p><b>【対象人材】</b> (1)水資源管理に携わる行政官または河川流域機関の職員 (2)水資源管理分野の実務経験10年以上 (3)工学系（土木、衛生、環境）大学卒業 者又はそれと同等の資格を持っている者</p>	
内 容			
<p><b>【討論】</b> ジョブレポート発表</p> <p><b>【討論】</b> アクションプラン作成・発表</p> <p><b>【講義】</b> IWRM概論、地球温暖化の水資源に与える影響</p> <p><b>【講義、視察】</b> 表流水・地下水の開発・利用・管理、水需要管理（家庭用水、農業用水）、上水道における水需給調整</p> <p><b>【講義、視察】</b> 日本の水資源政策の概要、日本の水に関する技術の海外での活用事例、ダムの総合管理（治水・利水）と渇水調整</p> <p><b>【講義、視察、討論】</b> 河川総合開発の合意形成、国際河川におけるIWRM、コンフリクトマネジメントを取り込んだIWRM</p>		<p><b>本邦研修期間</b></p>	<p>(A) 2019/5～2019/6 (B) 2019/11～2019/12</p>
		<p><b>担当課題部</b></p>	<p>地球環境部</p>
		<p><b>所管国内機関</b></p>	<p>(A) JICA東京（経済環境） (B) JICA九州</p>
		<p><b>関係省庁</b></p>	<p>国土交通省（建設）</p>
		<p><b>実施年度</b></p>	<p>2018～2020</p>
<p><b>主要協力機関</b></p>	<p>(A)（独）水資源機構/(B)（公財）北九州国際技術協力協会(KITA)</p>		
<p><b>特記事項 及び ホームページ</b></p>			